富谷市地域公共交通会議設置要綱(平成19年10月3日施行)の一部を次のとおり改正する。

改 TF. 後 現 行

(設置)

第1条 道路運送法(昭和26年法律第183 号) の規定に基づき、地域における需要に応じ た住民の生活に必要なバス等の旅客輸送の確 保及び自家用有償旅客運送の必要性、公共の福 祉の確保その他旅客の利便の増進を図り、地域 の実情に応じた輸送サービスの実現に必要な 事項を協議するため、富谷市地域公共交通会議 (以下「交通会議」という。) を設置する。

(協議事項)

- 第2条 交通会議は、次に掲げる事項を協議する ものとする。
- (1) 地域の実情に応じた適切な乗合旅客運送 の熊様並びに運賃及び料金に関する事項
- (2) 市町村運営有償運送の必要性及び旅客か ら収受する対価に関する事項
- (3) 交通会議の運営方法その他交通会議が必 要と認める事項
- 2 前項第1号に規定する事項のうち乗合旅客 運送の運賃及び料金に関する事項の議決につ いては、第8条に規定する運賃分科会において 行うものとする。

(交通会議の構成員)

- 第3条 交通会議は、委員20名以内をもって組|第3条 交通会議は、委員20名以内をもって組 織する。
- 2 委員は、次に掲げる者により構成し、市長が 委嘱する。
 - (1) 富谷市長

(設置)

第1条 道路運送法(昭和26年法律第183 号) の規定に基づき、地域における需要に応じ た住民の生活に必要なバス等の旅客輸送の確 保

その他旅客の利便の増進を図り、地域 の実情に応じた輸送サービスの実現に必要な 事項を協議するため、富谷市地域公共交通会議 (以下「交通会議」という。)を設置する。

(協議事項)

- 第2条 交通会議は、次に掲げる事項を協議する ものとする。
 - (1) 地域の実情に応じた適切な乗合旅客運送 の熊様並びに運賃及び料金に関する事項
 - (2) 市町村運営有償運送の必要性及び旅客か ら収受する対価に関する事項
 - (3) 交通会議の運営方法その他交通会議が必 要と認める事項

(交通会議の構成員)

- 織する。
- 2 委員は、次に掲げる者により構成し、市長が 委嘱する。
 - (1) 富谷市長

- (2)一般乗合旅客自動車運送事業者
- (3)一般貸切(乗用)旅客自動車運送事業者
- 社団法人宮城県バス協会 (4)
- (5)住民又は利用者の代表者
- 東北運輸局宮城運輸支局長が指名する者 (6)
- (7) 自家用有償旅客運送に係る協議を行う場 合は、富谷市において現に自家用有償旅客運送 を行っている特定非営利活動法人等の団体に 所属する者のうちその代表者が指名する者
- (8) 一般旅客自動車運送事業者の事業用自動 車の運転者が組織する団体
- (9) 道路管理者
- (10) 宮城県警察
- (11) 宮城県企画部長が指名する者
- (12) 学識経験を有する者その他の交通会議 の運営上必要と認める者
- 3 前項第2号から第4号までに掲げる委員及 び第6号から第11号に掲げる委員について は、交通会議に代理人を出席させることができ る。

(任期)

第4条 委員の任期は、1年以内とする。ただし、 委員が欠けた場合において補欠により就任し た委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長)

- 1号に掲げる者が会長となる。
- 2 会長は、交通会議を代表し、会務を総理する。
- 3 会長に事故がある場合には、委員の中からあ らかじめ会長が指名する者がその職務を代理

- (2)一般乗合旅客自動車運送事業者
- (3)一般貸切(乗用)旅客自動車運送事業者
- 社団法人宮城県バス協会 (4)
- (5)住民又は利用者の代表者
- (6) 東北運輸局宮城運輸支局長が指名する者

- (7) 一般旅客自動車運送事業者の事業用自動 車の運転者が組織する団体
- (8) 道路管理者
- (9) 宮城県警察
- <u>(10)</u> 宮城県企画部長が指名する者
- (11) 学識経験を有する者その他の交通会議 の運営上必要と認める者
- 3 前項第2号から第4号までに掲げる委員及 び第6号から第10号に掲げる委員について は、交通会議に代理人を出席させることができ る。

(任期)

第4条 委員の任期は、2年以内とする。ただし、 委員が欠けた場合において補欠により就任し た委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長)

- 第5条 交通会議に会長を置き、第3条第2項第│第5条 交通会議に会長を置き、第3条第2項第 1号に掲げる者が会長となる。
 - 2 会長は、交通会議を代表し、会務を総理する。
 - 3 会長に事故がある場合には、委員の中からあ らかじめ会長が指名する者がその職務を代理

する。	する。
(議事)	(議事)
第6条 交通会議は、会長が招集し、その議長と	第6条 交通会議は、会長が招集し、その議長と
なる。	なる。
2 交通会議は、委員の過半数以上の出席がなけ	2 交通会議は、委員の過半数以上の出席がなけ
ればこれを開くことができない。	ればこれを開くことができない。
3 交通会議の議決を要する事項については、出	3 交通会議の議決を要する事項については、出
席委員の全会一致を原則とするが、これが困難	席委員の全会一致を原則とするが、これが困難
な場合は、出席委員の3分の2以上の同意で決	な場合は、出席委員の3分の2以上の同意で決
する。	する。
<u>(分科会)</u>	
第7条 会長は、必要に応じて交通会議に分科会	
を置くことができる。	
2 分科会において協議した事項については、交	
通会議へ報告するものとする。	
3 分科会において協議が整った場合は、交通会	
議において協議が整ったものとみなす。	
(運賃分科会)	
第8条 道路運送法(昭和26年法律第183	
号) 第9条第4項に規定する協議会として運賃	
分科会を置く。	
2 運賃分科会は、次に掲げる者をもって組織す	
<u>3.</u>	
(1) 富谷市長又はその指名する者	
(2) 運賃及び料金を定めようとする一般乗合	
旅客自動車運送事業者	
(3) 東北運輸局宮城運輸支局長が指名する者	
(4) 住民又は利用者の代表者	
3 運賃分科会に分科会長を置き、前項第1号に	
掲げる者が分科会長となる。	

- 4 分科会長は、運賃分科会を代表し、会務を総 理する。
- 5 運賃分科会において協議をするときは、あら らかじめ、住民、利用者その他利害関係者の意 見を反映させるために必要な措置を講じるも のとする。
- 6 第8条第2項から前項までに定めるものの ほか、運賃分科会に関し必要な事項は、分科会 長が定める。

(協議結果の取扱い)

第9条 交通会議において協議が調った事項に ついて、関係者はその結果を尊重し当該事項の 誠実な実施に努めるものとする。

(庶務)

第10条 交通会議の庶務は、富谷市企画部企画 第8条 交通会議の庶務は、富谷市企画部企画政 政策課において処理する。

(委任)

議の運営に関して必要な事項は、会長が交通 会議に諮り定める。

(協議結果の取扱い)

第7条 交通会議において協議が調った事項に ついて、関係者はその結果を尊重し当該事項の 誠実な実施に努めるものとする。

(庶務)

策課において処理する。

(委任)

第11条 この要綱に定めるもののほか交通会 | 第9条 この要綱に定めるもののほか交通会議 の運営に関して必要な事項は、会長が 交通会 議に諮り定める。

備考 改正箇所は下線が引かれた部分である。

附則

この要綱は、令和6年7月8日から施行する。